

# Vulnerability and Resistance of Urban Spaces against Crimes Focusing on Human-Environmental Relationship

杉野, 弘明

<https://doi.org/10.15017/1441003>

---

出版情報：九州大学, 2013, 博士（人間環境学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

## 論文審査の結果の要旨

本論文は、これまでに提唱された防犯に関する理論や研究を概観した上で、都市の脆弱性のみに着目する日本の防犯研究の限界点を指摘し、日本の都市空間が有する抵抗性にも着目すべきことを提言した。次に都市の抵抗性を環境心理学的・生態心理学的に「しづらい」と感じるエピソードによる分析から捉え直し、「しづらさ」を感じ取る人間と環境のトランザクションについての統合モデルを提示した。さらに、放火をケーススタディとして取り上げ、脆弱性と抵抗性の観点から、それぞれの地区の課題を明らかにし、地区単位毎の防犯環境設計の提案を行っている。また、自転車盗難をケーススタディとして、自転車盗難をしづらいと感じさせる視認物や状況を明らかにすることで、防犯性能が高い駐輪場の条件を提示し、脆弱性と抵抗性のそれぞれの「強度」と「拮抗性」が自転車盗難に大きく影響することを論じており、アーバンデザイン学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。